



鹿角の

秋厚労ニュース

給食委託反対

秋厚労 経営者に申し入れ

かつの厚生病院は、10月から給食を外部委託すると発表しました。食は人間生活の基本、病院食は治療食との観点で、秋厚労は「病院給食は直営で」というスタンス。さらに今回は問題点も多く、去る7月6日、経営者に対して「委託には反対する」旨を申し入れました。

かつの厚生病院 給食調理業務の外部委託に反対する申し入れ内容

2017年(平成29年)3月24日、かつの厚生病院・管理者より秋厚労鹿角支部に対して、口頭で、同院の「給食調理業務の外部委託」に関する提示がありました。

ご承知の通り、「食」は人間生活の基本であり、病院食は「治療食」である、という観点から、秋厚労は基本的に「病院給食の委託」には反対の姿勢をとっています。さらに今回の場合、以下のような問題点が加わっているため、了承はできかねます。

＜反対理由3点は、ニュースにもあるので省略＞

そこで、今回の事態を鑑み、秋厚労は以下の点を申し入れます。

記

- 1 かつの厚生病院の給食調理業務の外部委託を断念し、直営を維持していただきたい
- 2 秋田県厚生連各病院の給食調理業務に携わる臨時職員について、下記の措置を講じていただきたい
 - ① 基本給の引き上げ、ボーナス・退職金の確立など、同じ仕事をしているのに正職員との「差別雇用」になっている実態の解消に向けた努力をすること
 - ② 5年間の「雇止め」をあらため、「無期雇用」の道を整備すること
 - ③ 長期間勤務した臨時職員については、採用試験などを経て、正職員になる道筋を確立すること
- 3 「農協病院」である厚生連として、食を第一義と位置づけ、地元で生産された安心・安全な食材を病院給食に恒常的に使用する仕組みを確立すること

中央委員会でも委託反対のアクションを求める多数の声

かつの厚生病院の「給食調理業務の委託」構想について、秋厚労が特に問題点として指摘し、この委託に反対する理由は以下の3点です。

1 点目は、委託化により、職員数人が、今まで誇りをもって勤めてきた調理現場の仕事から引き離されること。これまでの頑張りを見無視して、調理とは違う仕事

2 点目に、委託の「理由」について、病院は「働く人手が集まらないから」としていますが、それは、経営者が、働く環境を意図的に悪くすることによって「つ

つくられた人手不足

点です。

「委託ありき」の経営方針の中、臨時職員に対して、何年も「正職員と同じ仕事をしても賃金や労働条件が低い」差別状態を続け、以前にはあった「正職員になる道」まで閉ざしました。

人件費や食材費安上がりに

3 点目に、経営者は、給食委託化で「コスト削減になる」と明言。ということは、人件費や食材費が今より低くなると思われま

厚労第7回中央委員会では、「鹿角の委託化を黙って見逃すわけにはいかない」「秋厚労は委託に反対姿勢なので、何らかのアクションを起こすべき」など、多くの参加者から叱咤・激励の発言が相次ぎました。

つまり、働く人の労働条件が悪くなり、その結果、人手が集まらず、また、冷凍や輸入食品など、安くて質の悪い食材が使われる恐れがあります。

今後は署名活動も

6月15日に行われた秋

この声を受けて、7月1日、第10回中央執行委員会でも論議し、今回の申し入れに至った次第。今後、同様の内容で署名活動も行うことになっています。

最近、直営に戻した病院も

最近、茨城県厚生連・高萩協同病院の給食が、委託から直営に戻りました。理由は、①業者さんが「委託費」を年々つり上げていったこと、②働き手が集まらなかったことです。なお、直営に戻す際、地元の食材店との取引が数年間なかったため、関係者は大変苦労したそうです。「病院給食の委託」は、働き手や商売など、地元にも大きな影響があります。